

各専門部総会開催

6月10日、青年部定期総会・スプリングセミナーを花巻温泉で開催しました。あらかじめグループごとに討議を行い、教員採用試験、沿岸被災地の状況、臨採者の勤務状況等について活発な議論が行われました。スプリングセミナーでは青年部長が給料、年金、退職金、退教互等の生活にかかわる制度について説明し、学習を深めました。

5月20日は高現組定期大会、6月13日は実習教諭部総会、17日は障害児学校部総会が行われています。6月30日は女性部総会・学習会が予定されています。



高現組定期大会



青年部定期総会



実習教諭部総会



障害児学校部総会

第1回「県立高等学校における生徒の多様な受け入れのあり方に関する検討会議」開催される

6月9日、県教委が主催する標記検討会議が、県民会館会議室において開催されました。県教委は、この会議の設置目的を、①県外からの志願者の受け入れのあり方をさぐる。②通学区域のあり方をさぐる。の2点としています。その背景として、少子化による生徒数の減少に対して地方創生のとりくみの中で県外からの生徒を受け入れている現状があること、また、より一層の教育の機会均等を理由とした学区の見直しの要望があることをあげています。

この会議に高教組・岩教組は委員として参加し、1回目の会議では、委員長に田代高章岩手大学教授を選任し、2つの課題について論点整理をしました。高教組は、特に通学区域の見直しには、高等学校教育の機会均等と子どもたちのゆたかな学びにつながる条件整備をすすめるというスタンスで臨んでいきます。